

先日、第四次内閣改造が行われた。社会保障政策や経済政策、外交・安全保障政策など気になるところはたくさんあるが、なかでも国民一人ひとりの生活に直結する社会保障政策はもっとも気になるところである。少子高齢化が止まらない現実のなかで、給付と負担のバランスをうまくとる政策を実行しないと、世界に誇れる皆保険制度は近い将来、破綻してしまうというのが心配である。未来（子供たち）に繋ぐ「全世代型社会保障」を実現できるように皆で考え、皆で痛みを分かち合うことが残された選択であろう。

さて、今月の特集では患者が透析を受けながらその人らしく生き、納得できる生活を支えるために私たちは何ができるのかについて執筆いただいた。そもそも、患者が望む生き方とはどのようなものを指すのか、まず、その人らしい生き方を支

える透析療法のあり方について3人の先生方にそれぞれの視点で論じていただいた。また、合併症を有する患者、高齢者や小児の透析をどのように支えていくか、成人の患者においては社会人として透析と仕事の両立をどう支えていくかについて論じていただいた。

現場のスタッフたちは目の前の一人ひとりの患者や家族と向き合っており、試行錯誤を繰り返している。しかし、いずれは誰にも訪れる終息を迎えるときに透析や人生と患者はどう折り合いをつけたのかを一緒に考え、方法を模索しなければならないときがくる。すべての人々が納得して人生を送ることができる社会の実現を祈りつつ、本特集がその一助となれば幸いである。

(中原 宣子)

2019年(Vol. 35)特集のご案内

- No.① 透析患者の糖尿病管理の新展開
- No.② 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常—透析液を含めて
- No.③ 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする
- No.④ 透析患者の残腎機能
- No.⑤ 透析医工学の最前線
- No.⑥ AKI 診療のエビデンスと課題
- No.⑦ CKD 患者におけるがん化学療法—透析患者を中心に〔増刊号〕

- No.⑧ 既存のガイドラインを透析患者にどう活用するか
- No.⑨ 標準血液透析を再考する—最良の透析処方・管理技術とは
- No.⑩ 在宅血液透析の勧め—円滑導入のためのノウハウ
- No.⑪ その人らしい生活を支える透析看護
- No.12 透析患者の支持療法

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.35 No.11

© 2019 年 10 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541